

MULTIPLEX

Easy Glider PRO イージーグライダープロ キット

組立て補助説明書

当説明書はキットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P11～19)が英語表記です。イラストは、P26～30です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。



警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は安定の良い機体ですが全くの初心者単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに機体の点検と飛行練習を受けてください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取り扱いにも熟知しておいてください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなり、パワーが低下します。
モーターの温度を確かめるときは火傷に注意してください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P26 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡下さい。

推奨搭載メカなど

- ・送信機: OPTIC 6、OPTIC 6 SPORT または 6ch 以上でエルロンディファレンシャル機能とスポイロン機能の装備した送信機。
- ・受信機: Hitec Mini 6S 重量 15g
Hitec NEUTRON 6S 重量 16g 又はデュアルコンバージョン受信機
- ・サーボ: Hitec HS-82MG × 2
Hitec HS-65HB × 2 または HS-65MG × 2

パワーユニット (電動) (別売)

イージーグライダー PRO 用パワーユニット (品番 332636)

- ・モーター: (KV1220)
- ・プロペラ: 10x6 折ペラ
- ・スピードコントローラー: 容量 2.7A
- ・スピナー: 54mm

動力用バッテリー: 2セル 2100mAh ~ 2セル 2500mAh ~ 2セル 3200mAh Li-Po 電池

機体データ

- ・全長 1130mm
- ・全幅 1800mm
- ・翼面積 (FAI) 41.6 dm²
- ・重量 800 g (電動 900~980g)
- ・翼面荷重 最小19 g/dm²

接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤に溶けにくい性質がありますがわずかに溶けます。ELAPOR Form同士の接着には中粘度または高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。あるいはEPP専用接着剤を推奨します。硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。

墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐ為には接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意: 瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P26~30)

・図1、2 (Abb,1、2)

全体の構成パーツです。

・図2、5、8 (Abb,2、5、8)

リンケージの為に各ロッドの長さを確認し用意します。

下記のように各パイプを区分します、ラダー用とエレベーター用とは長さが異なりますから注意してください。もし必要であればカットして長さを調整してください。

後の作業でお互いに間違わないように注意して扱ってください。

パーツ名称	部品番号	寸法
ラダー用 アウターチューブ	(44)	3.2 × 785mm
ラダー用 インナーチューブ	(46)	2.1 × 850mm
ラダー用 ピアノ線ロッド	(42)	0.8 × 875mm

エレベーター用 アウターチューブ	(43)	3.2 × 785mm
エレベーター用 インナーチューブ	(45)	2.1 × 850mm
エレベーター用 ピアノ線ロッド	(41)	0.8 × 875mm

注意: 残った3,2 パイプはアンテナ線を通すパイプ(47)に使用します。

・図3、4、5 (Abb,3、4、5)

左側胴体にエレベーターのロッドを取り付けます。

アウターパイプは位置をイラストに合わせて(!印)インナーパイプがスムーズに動作する事を認めた後に胴体に接着剤で固定します。この時に接着剤がインナーパイプに入らないように注意してください。インナーパイプとピアノ線ロッドは後にサーボとエレベーターホーンを取り付けて位置が決まったら両端で接着します。

注意: アウターパイプを接着する時に胴体が反らないように定板の上で作業してください。

・図6、7、8 (Abb,6、7、8)

右側胴体にラダーのロッドを取り付けます。

アウターパイプは位置をイラストに合わせて(!印)インナーパイプがスムーズに動作する事を認めた後に胴体に接着剤で固定します。この時に接着剤がインナーパイプに入らないように注意してください。インナーパイプとピアノ線ロッドは後にサーボとラダーホーンを取り付けて位置が決まったら両端で接着します。

注意: アウターパイプを接着する時に胴体が反らないように定板の上で作業してください。

・**図9** (Abb,9)

アンテナパイプ(47)と曳航フック(32)を接着します。
胴体後部からはみ出たアンテナパイプはラダーに当たるのでカットしておきます。

注意:この時に胴体が反らないように注意して作業してください。

・**図10** (Abb,10)

モーターマウントの接着。
右側の胴体部品にエアインテークの位置を合わせて瞬間接着剤で固定します。

・**図11** (Abb,11) ELECTRIC Ver のみ

ラダーサーボ、エレベーターサーボの取り付け。
胴体のサーボ取り付けスペースはHS-81にあわせてあります。他のサーボを取り付ける場合はサーボが動かないようにカットして形状を合わせてください。サーボは両面テープもしくは柔軟性のある接着剤で固定します。DIYショップで販売されているホットメルト等の熱溶解グルーも有効です。
30cm延長コードを図のようにプラパーツ(36)に接着し固定します。リード線を溝に入れてカバー(37)を接着します。キャノピーラッチ(22)も接着します。左右の胴体とも同じように仕上げてください。

・**図12** (Abb,12)

胴体、左右の接着。
接合面をエンジンシンナーできれいに拭きます。ELAPOR 素材はわずかに溶けますので最大30秒以内に済ませます。高粘度または中粘度の瞬間接着剤を塗って、胴体が反らないように慎重に張り合わせます。

注意:胴体の接合ラインは直線であるように注意してください。

・**図13、14** (Abb,13、14)

ラダーヒンジの取り付け。
イラストのように胴体後部にヒンジを接着剤で取り付けます。ラダーのヒンジの入る部分はカッターでイラストのように深さ4ミリに切開してください。ヒンジのセンター軸が垂直尾翼のヒンジラインと同一になるように仮組みをして確認します。

注意:ヒンジの可動部に接着剤が流れ込まないように注意してください。

注意:胴体の接合ラインは直線であるように注意してください。

・**図15** (Abb,15)

ラダーホーンの取り付け。
垂直尾翼に刺さる部分はヒンジに当たりますので2ミリにカットして勘合を確認してから接着します。
ピアノ線ロッドを固定するロッドコネクタ(25)はラダーホーンの外側から2番目の穴に取り付けます。
これを固定するナット(27)はガタがなく、スムーズに回転する位置まで締めたらネジロック剤で固定します。

・**図16** (Abb,16)

エレベーターの加工。
エレベーターの舵面をカットします。イラストの部分をカッターで1ミリ程のスキマを開けるようにカットしてください。その後、舵がやわらかく動作するように数回動かして慣らしてください。ELAPORは柔軟性と耐久性がありますので疲労の心配はありません。同時に垂直尾翼のラダーも(カットはしません)数回動かして慣らします。

・**図17** (Abb,17)

エレベーターの加工。
エレベーターの舵面をカットします。イラストの部分をカッターで1ミリ程のスキマを開けるようにカットしてください。その後、舵がやわらかく動作するように数回動かして慣らしてください。ELAPORは柔軟性と耐久性がありますので疲労の心配はありません。同時に垂直尾翼のラダーも(カットはしません)数回動かして慣らします。

・**図18** (Abb,18)

水平尾翼と垂直尾翼の接着。
この部分は接合面をサンドペーパーで荒らしてエポキシ接着剤で固定してOKです。
先に胴体に接着する前に水平尾翼と垂直尾翼を直角に接着するのも一案です。
次に胴体にカンザシ(40)を仮に紙テープで止めて、これに水平尾翼が平行になるように確認しながら接着します。ここでの傾きは飛行させたときのクセとなって現れますので慎重に作業します。ヒンジの接着も忘れないでください。
(ヒンジに接着剤が流れ込まないように注意)

・**図19、20** (Abb,19,20)

各リンクエッジロッドの固定。
各ロッドのアウトパイプとインナーパイプの位置を、イラストを良く参照しながら調整します。ピアノ線ロッドは受信機

を接続して送信機でニュートラルを出してからイモネジ(28)を付属のアーレンキーで締めます。

・**図21.** (Abb,21)

エルロンの加工。

左右のエルロンの舵面をカットします。イラストの部分をカッターで1ミリ程のスキマを開けるようにカットしてください。その後、舵がやわらかく動作するように数回動かして慣らしてください。ELAPORは柔軟性と耐久性がありますので疲労の心配はありません。

・**図22** (Abb,22)

エルロンホーンの取り付けとエルロンサーボの取り付け、リンケージ作業。

- 1)エルロンホーンは図17の時と同じ要領で取り付けます。
- 2)サーボ用の溝はHS - 55用にカットされていますので他のサーボの場合はカットして位置を合わせてください。サーボの固定は両面テープか熱で溶けるホットメルトのような樹脂で固定しても良いでしょう。サーボを接着する場合はサーボケース内に接着剤が侵入しないようにテープを貼ってください。

・**図23、24** (Abb,23、24)

主翼カンザシカバーの取り付け。

60cm延長コードをつないで右翼は75mm、左翼は60mmコネクターコードが出るようにします。長さの余った分はカンザシカバーの中で折りたたんでおきます。カンザシカバーは瞬間接着剤で接着します。事前にサーボの延長コードが干渉してカンザシカバーが浮いてしまわないかチェックします。必要であればカンザシカバーを削ってください。またカンザシにガタが生じていないか確認します。接着は瞬間接着剤と促進剤を推奨します。主翼側に硬化促進剤を塗布して約5分は待ちましょう。接着したら完全に硬化するまで絶対にカンザシは差し込まないでください。**抜けなくなります！瞬間接着剤以外で接着する場合は接着剤がカンザシ挿入穴に流れ込まないように注意してください。カンザシが入らなくなります！**

・**図25** (Abb,25)

完全に硬化してからテストしてください。コードが折りたたまれて胴体内に収納されます。

注:主翼は胴体に接着する必要はありません。

・**図26** (Abb,26)

キャノピーラッチラグ(23)の接着。

図のように補強板(35)をキャノピーに接着します。

キャノピーにラッチラグを接着します。接着の前に良く位置合わせを行なってください。

・**図27** (Abb,27)

グライダーバージョンではバッテリーを機首に配置します。図はオプションのエアロトーイング用ユニットです。

・**図28** (Abb,28)

パワーユニットの取り付けの様子です。

・**図29、30** (Abb,29、30)

エルロン、エレベーター、ラダーの動作量です。

エルロン 上15ミリ、下6ミリ

エレベーター 上下8ミリ

ラダー 左右15ミリ

重心位置は主翼の前縁から70ミリです。印を主翼につけてください。

付属しているシール等を箱の写真等を参考にして仕上げてください。本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。この作業は最大30秒以内にしてください。

送信機にエルロンを同時に上に跳ね上げるスポイロン機能が装備されている場合は設定すると良いでしょう。着陸アプローチが楽になります。

株式会社 ハイテックマルチブレックスジャパン <http://www.hitecrd.co.jp>
〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507
電話:050-5519-4989、FAX:03-5767-6301、E-mail:support@hitecrd.co.jp

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。